1/23 赤旗

核廃絶 人類の課題

核禁条約発効2年 各地で行動

核兵器禁止条約が発効して2年を迎えた22日、全国各地で日本政府に禁止条約への署名・批准を求める署名行動をはじめ、つどい、ツイッターデモなどが取り組まれました。

↓関連7面

日本の参加求める 東京

東京・新宿駅前では、原の93歳の女性を含む10人が水爆禁止日本協議会と、東参加しリレートークをしな京の被爆者団体・東友会がら署名を呼びかけました。

被爆者の濱住治郎さんは、「核の傘」を認めることは核兵器を必要悪だと認めることになると批判。「絶対に戦争はしてはならない。核兵器の禁止、廃絶は人類の課題です。日本政府に禁止条約に署名・批准を求めよう」と呼びかけました。

茨城県つくば市の大学2年生は、「核兵器を禁止する姿勢を日本政府が見せないのはおかしいし、敵基地攻撃能力の保有などと言っているけど、専守防衛はどこにいったのか。戦後の日本の根幹を揺るがすことになる」と署名しました。

署名に応じた東京都港区の区民(57)は、「核兵器廃絶を日本が言わなくて誰がいうのか。日本には憲法9条があり、政治家はこの9条を前面に打ち出し、〝こちらから攻撃はしないので外交で解決しよう〟という姿勢を発信するべきです」と語りました。

核兵器禁止条約 2017年7月7日に122カ国の賛成で採択され、21年1月22日に発効しました。同条約は、核兵器の開発、使用、使用の威嚇、譲渡、支配地域内での設置や配備を含むすべての行為を禁止しています。唯一の戦争被爆国の日本の政府は禁止条約に署名も批准もしていません。